

## 仲間がいることの強さ

私はゼミに入って、「仲間の大切さ」に気がつきました。ゼミに入る前は、自分の意見を強く主張し、正しさを追求するあまり、周囲の気持ちを十分に考えられていなかったこともあったと思います。ゼミに入ってから、「変わったね」と言われることが増えました。自分では気づかないうちに、考え方や行動が少しずつ変わっていたのだと思います。その変化を生んだのは、間違いなくゼミで出会った仲間の存在でした。

高校生や大学1・2年次の個人学習とは違い、ゼミではほとんどがグループ課題やチームプレゼンでした。正直に言えば、グループ活動は時間もかかり、自分への負担も大きいです。一人でやった方が早く、質の高いものを作れると感じることもありました。しかし、ゼミ活動を通して、仲間と挑戦する意義に気づきました。意見を出し合うことで、自分にはなかった視点に出会い、一人では気づけなかった間違いに気づくことができます。そして、仲間一人ひとりの長所が見えてきます。例えば、同期の仲間は、努力家、声大きい、度胸がある、仲間思い、美的センスがある、場を和ませる、継続力がある、作業が速い、的確な意見を出す、気遣いが上手、などの様々な長所をもっていました。

私は、自分のことを「継続は苦手だけれど行動力はある」と思っています。それぞれの強みが掛け合わさり、支え合うことで、一人で作業するよりも大きな成果を得られることを実感しました。特に Joint Seminar では、仲間がいることの心強さとありがたさを何度も実感しました。チームプレゼンが終わったあとの達成感は、本当に最高でした。

仲間の大切さに気づいたからこそ、リーダーシップに対する考え方も大きく変わりました。以前は、強く引っ張ることがリーダーだと思っていました。しかし、本当のリーダーとは、一人で進むのではなく、仲間一人ひとりの良さを引き出し、全員が本気で目標に向かえる環境をつくる人なのだと気づきました。私は将来、「仲間の心に火をつけられるようなリーダー」になりたいと思っています。

熱く語り合える仲間がいる。悩みを真剣に聞いてくれる仲間がいる。そして、私たちの心に火をつけてくださる首藤先生がいる。この環境があったからこそ、私は2年間のゼミ生活で大きく成長することができました。首藤ゼミに入って、本当によかったと思っています。

最後になりますが、皆さんにはぜひ「環境選び」を大切にしてほしいです。人は良くも悪くも、周囲の環境に大きく影響を受けます。自分が尊敬できる先生や仲間の近くで学ぶことは、何よりの成長につながります。どんな環境に身を置くかで、自分の未来は大きく変わります。皆さんが最高の仲間と出会い、最高の環境で大学生活を送れることを願っています。

2026年3月15日

首藤ゼミ第5期 BOSS

山下夏凜